

報告

JA全農世界女子カーリング選手権 札幌大会における アンチ・ドーピング啓発活動

北海道薬剤師会アンチ・ドーピング
特別委員会

委員長 笠 師 久美子

担当副会長:竹 内 伸 仁

委員:大 倉 康 豊 谷 高 明

板 垣 美津子 前 田 直 大

奥 村 康 子(医薬情報センター)

【はじめに】

平成27年3月14日から22日まで、札幌市月寒体育館ならびにどうぎんカーリングスタジアムを会場に「JA全農世界女子カーリング選手権札幌大会2015」が開催されました。今回、第8回札幌アジア冬季競技大会(以下、冬季アジア大会)組織委員会の依頼により、日本カーリング協会ならびに国際カーリング連盟了承のもと、北海道体育協会と協力し、北海道薬剤師会アンチ・ドーピング特別委員会および医薬情報センターにおいてアンチ・ドーピング啓発活動を実施しましたので、ご報告致します。

【大会概要】

大会名:JA全農世界女子カーリング選手権
札幌大会2015

開催期日:平成27年3月14日(土)~22日(日)

開催場所:札幌市月寒体育館

参加者数:一般観客数 12,560名

選手・役員・その他関係者 1,635名

【活動内容】

1) ドーピング防止ホットライン:ドーピング禁止物質や薬に関する相談応需を実施。医薬情報センター職員2名、ならびに北海道体育協会スポーツ科学委員会委員1名

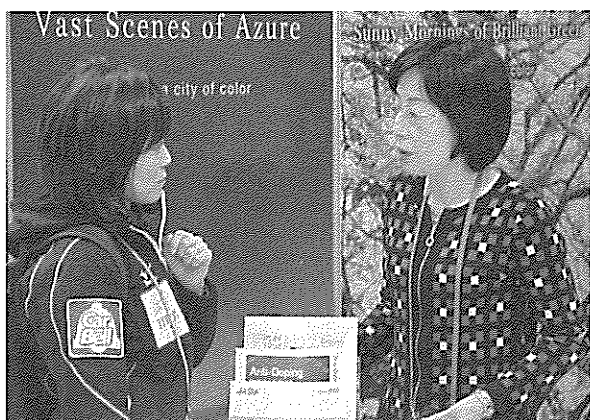
●対応時間

・医薬情報センターホットライン
9:00-17:00(時間外も携帯対応)

●対応方法

- ・医薬情報センター携帯(写真添付も可)による受付、特に海外選手団の対応
- ・電話番号およびメールアドレスの公開は本大会医事関係業務マニュアルに明記
- ・近隣歯科医院の相談は北海道体育協会スポーツ科学委員会委員対応
- ・対応ならびに回答方法を統一し、検索はGlobal DRO(日本アンチ・ドーピング機構ドーピング禁止物質検索サイト:Global Drug Reference Online)を主体に実施

2) 競技会場におけるアンチ・ドーピング啓発ブース活動:アンチ・ドーピングに関する資料の配付、薬やドーピング防止に関する相談応需、禁



【アンチ・ドーピング啓発ブースにて】
〈竹内副会長、鈴木靖さん(オリンピック)〉

止物質の検索に関する情報提供等。北海道体育協会スポーツ科学委員会委員1名、アンチ・ドーピング特別委員会委員、道薬会員(ボランティア)ならびに事務局職員等14名、オリンピック1名

●対応時間

- ・10:00-18:00 シフトにて対応
(活動は日報にて管理)

●対応方法

- ・資材配付ならびに情報提供
- ・相談応需(薬等の相談)
- ・Global DRO の紹介
- ・北海道薬剤師会ならびに北海道体育協会共催のアンチ・ドーピング活動の紹介

【資料配付結果】

- ・冊子「教えてください アンチ・ドーピングのこと」(北海道薬剤師会・北海道体育協会等作成): 800冊
- ・スポーツファーマシスト(SP)紹介パンフレット(JADA 提供): 200部
- ・SP 紹介フラッパー(JADA 提供): 200部
- ・Global DRO 折り畳みパンフレット(JADA 提供): 200部
- ・アンチ・ドーピングのススメ(JADA 提供): 200部



- ・Global DRO パンフレット(JADA 提供): 6部
- ・Play True Quiz(WADA): 5部
- ・薬剤師会ドーピング防止ホットライン一覧: 2部
- ・薬物乱用パンフレット(北海道薬剤師会作成): 100部

【まとめ】

国際スポーツ競技大会におけるアンチ・ドーピング活動は、アンチ・ドーピング特別委員会委員の多くが初めての経験にて、事前の準備も十分ではなかった部分、また、経験不足の部分があったことは否めませんが、関係団体の協力のもと、無事に終了することができました。

<日本選手団と道薬スタッフ>



当初は、なかなかブースに来訪する観客が少ない状況もありましたが、冊子やパンフレット等を配付しながら解説することで理解されるようになり、タイやスイスなど、海外からの観客訪問もありました。また、最終日には日本選手団とも一緒に記念撮影をさせて頂き、選手との会話から、エリートアスリートであっても、薬相談や薬の購入については、なかなか気軽に薬剤師や医療者に相談できる環境が整っていないことがわかり、この点も今後の課題と考えます。

委員やスタッフからは、薬剤師会や薬剤師職能をアピールするためのグッズの配付、あるいは啓発対象とする年齢に応じた資材の提供も考慮すべきとの意見もありましたが、今後もこの活動を継続すべきとの意見が大多数でした。

また、情報提供の要である医薬情報センター職員を中心としたドーピング防止ホットラインには実際の相談事例はありませんでしたが、英語表記の資料や応需体制を見直す良い機会となり、冬季アジア大会に向けての参考になったとの感想を頂きました。

今回は依頼を受けたのが2ヵ月前とかなり差し迫った状況であったため、今後は、冬季アジア大会組織委員会、北海道体育協会と協力の上、競技大会でのアンチ・ドーピング啓発活動の立案・運営のための準備を行い、多くのスポーツファーマシストならびに薬剤師の先生方にもご参加頂きたいと考えています。

本事業におきましては、急な依頼にて年度末の厳しい状況の中、ご無理申し上げましたが、ご理解ならびにご尽力頂きました関係各位に心から感謝申し上げます。



ウラリット®配合錠は
フィルムコーティング錠です。

アルカリ化療剤 ー酸性尿・アシドーシス改善ー 薬価基準収載
処方せん医薬品^注 注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

ウラリット®配合錠

ウラリット・U配合散

Uralyt® <クエン酸カリウム・クエン酸ナトリウム水和物配合製剤>

●効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

高尿酸血症・痛風の総合情報サイトを開設しています。

<http://www.uralyt.jp>

痛風ナビ
高尿酸血症から、痛風を防ぐ

ウラリット.jp
医師処方箋の検索

製造販売元(資料請求先)
日本ケミファ株式会社
東京都千代田区岩本町2丁目2-3

提携
マダウス社 (ドイツ)

H26-3